

Appian 101 : AIを使用して初めてのアプリケーションを構築する

演習ガイド

<u>はじめに</u>	<u>2</u>
<u>ユースケース: NexGen</u>	<u>2</u>
<u>サインイン</u>	<u>2</u>
<u>演習 1: Appian Composer でアプリケーションプランを作成する</u>	<u>3</u>
<u>アプリケーションプランの生成</u>	<u>3</u>
<u>アプリケーションプランの確認</u>	<u>5</u>
<u>演習 2: デザインオブジェクトの設定</u>	<u>9</u>
<u>レコードタイプを設定する</u>	<u>9</u>
<u>Employee Summary View インターフェイスを開く</u>	<u>13</u>
<u>インターフェイスを更新する</u>	<u>14</u>
<u>プロセスモデルを開いてテストする</u>	<u>16</u>
<u>サイトを設定する</u>	<u>17</u>
<u>演習 3: ビジネスユーザーとしてアプリを探索する</u>	<u>18</u>
<u>従業員の管理</u>	<u>18</u>
<u>ビジネスデータを使用してレポートを作成する</u>	<u>18</u>

権利に関する通知

本書はAppian Corporation（7950 Jones Branch Dr, Tysons, Virginia 22102）によって作成されました。Copyright 2026 by Appian Corporation. All rights reserved. 本書の内容は予告なく変更されることがあります。Appian Corporationの事前の書面による許可なく、本書のいかなる部分も、いかなる形式または方法によっても複製または送信することはできません。転載または抜粋の許可の取得に関する詳細については、Appian Training（academyonline@appian.com）にお問い合わせください。

はじめに

このワークショップでは、Appian 開発に慣れるために、基本的な Appian アプリケーションを構築します。まず、Appian Composer を使用して、要件からアプリケーションプランを生成します。次に、デザインオブジェクトを確認し、それらを更新してアプリケーションの機能を構築します。

Appian Composer は、アプリの要件、ペルソナ、データモデルなどを整理することで、アプリケーションの計画を効率化します。要件を視覚的でインタラクティブなアプリケーションプランに変換することでレガシーモダナイゼーションのリスクを低減して加速し、構築を開始する前に IT とビジネスの認識を揃えることができます。さらに、動作するアプリケーションの基盤を生成することで、アイデアからアプリケーションへの移行を支援します。

ユースケース: NexGen

NexGen は、注文フルフィルメントセンターを運営する流通会社です。業務をより適切に拡張するため、現在の従業員オンボーディングプロセスの最新化を望んでいます。この新しい従業員オンボーディングハブにより、人事スペシャリストは新入社員を管理できるようになり、採用マネージャーは新入社員の進捗状況を追跡できるようになります。

サインイン

1. ワークショップ環境に移動します。
2. Appian Community の認証情報を使用してサインインしてください。
3. 指示に従ってワークスペースを取得してください。

Appian Designer には、以下を含む複数の事前構築済みアプリケーションが表示されます。

- **W#EO Employee Onboarding (W#EO):** これらの演習を行うための、あなた専用の編集可能なアプリです。

重要:

ワークスペースを取得すると、事前構築済みアプリのアプリプレフィックスに含まれるワークスペース識別子が割り当てられます。名前の競合を避けるため、この識別子をアプリプレフィックスに保持してください。例:



演習 1: Appian Composer でアプリケーションプランを作成する



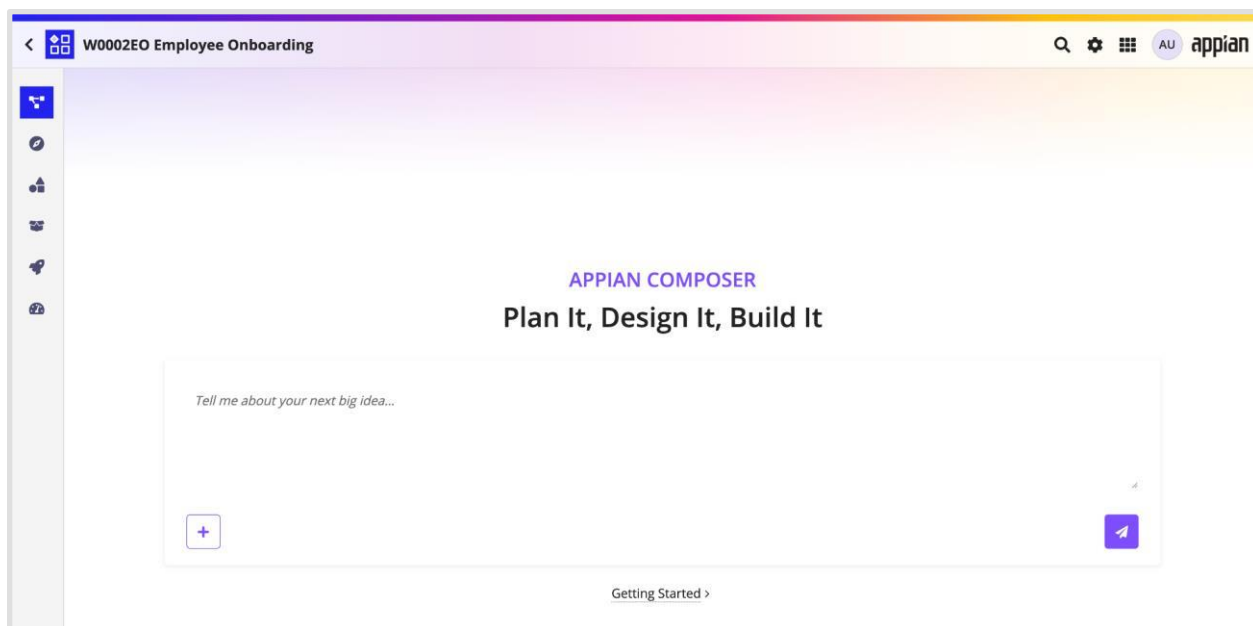
シナリオ

NexGen の新入社員オンボーディングプロセスを効率化するためのアプリケーションを構築しています。Appian Composer を使用して、アプリケーション要件からアプリケーションプランを生成します。

アプリケーションプランを生成する

構築を開始する前に、アプリケーションの機能を構成するデザインオブジェクトのコンテナであるアプリケーションを作成する必要があります。このワークショップでは、まだアプリケーションプランがないスターターアプリケーションを使用します。

1. ナビゲーションメニュー > [Appian Designer] をクリックします。 
2. アプリケーションの一覧で、W#EO Employee Onboarding (W#EO) を選択します。
3. 左側のナビゲーションペインで、[Plan] ビューに移動します。 
 - [Plan] ビューが開き、Appian Composer が表示されます。





注記

Appian Composer はアプリケーションの計画を効率化します。アプリの要件、ペルソナ、データモデルなどを整理できます。また、Appian Composer を使用して、構築を迅速に開始するためのデザインオブジェクトを生成することもできます。

4. [Plan] ビューで、チャットフィールドの下にある [Getting Started] をクリックします。

アプリケーションプランは、要件をプレーンテキストとして入力するか、ドキュメント、画像、Excel アプリなどのファイルをアップロードすることで生成できます。このワークショップでは、チャットフィールドにプレーンテキストを入力します。

5. 以下のボックスからアプリケーション要件をコピーし、チャットフィールドに貼り付けます。

Build a Modern Onboarding Hub to replace a legacy system. The app should allow HR Specialists to manage new hires and for Managers to track progress. Use the following specifications:

1. Data Model (5 entities):

- **Employee:** (First Name, Last Name, Email, Start Date, Hiring Manager (user), Department ID)
- **Department:** (Dept Name)
- **Employee Task:** (Employee ID, Task ID, Due Date, Completion Status)
- **Onboarding Task (Reference):** (Task Name)
- **Status:** (Value)

2. Personas:

- **HR Specialist:** Can create/edit employee records and add tasks.
- **Hiring Manager:** Can view and update their specific new hires.

3. Core Features:

- HR needs to view a list of employee onboarding cases on a dashboard that can be filtered by status.
- HR needs to click into the onboarding cases to view more details.
- HR needs to create new onboarding cases and update them later.



6. (紙飛行機ボタン) をクリックします。Appian Composer がこれらの要件を処理し、アプリケーションプランを作成します。

アプリケーションプランを確認する

ここで、生成されたアプリケーションプランを確認するために少し時間を取ってください。これにより、Appian アプリケーションのアーキテクチャをより深く理解できます。プロジェクトでは、チームおよび関係者とともにこのアプリケーションプランを洗練させる必要があります。また、チャットを使用してプランを更新し、最適化の機会を特定することもできます。



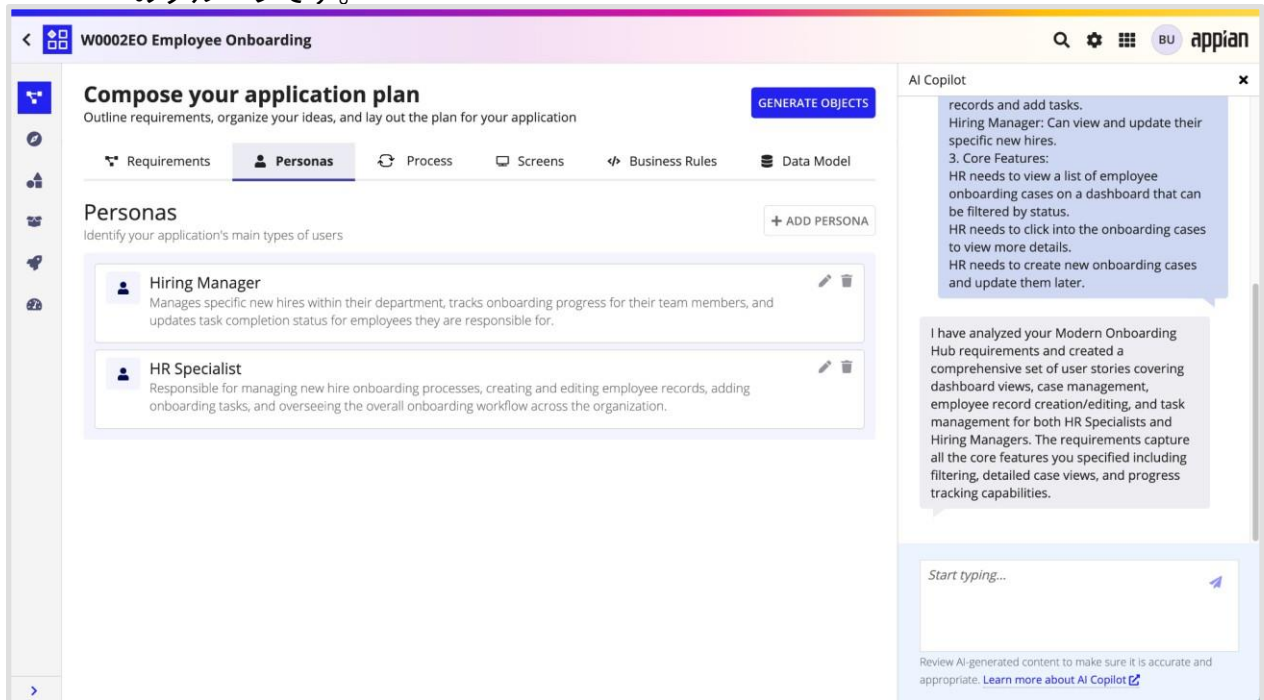
注記

Appian Composer は、生成 AI を使用してアプリケーションプランを作成します。2 人の開発者がまったく同じアプリケーションプランを作成することがないのと同様に、Appian Composer も同じにはなりません。お客様のアプリケーションプランは、このガイドや講師の画面に表示されているプランとは異なる場合があります。

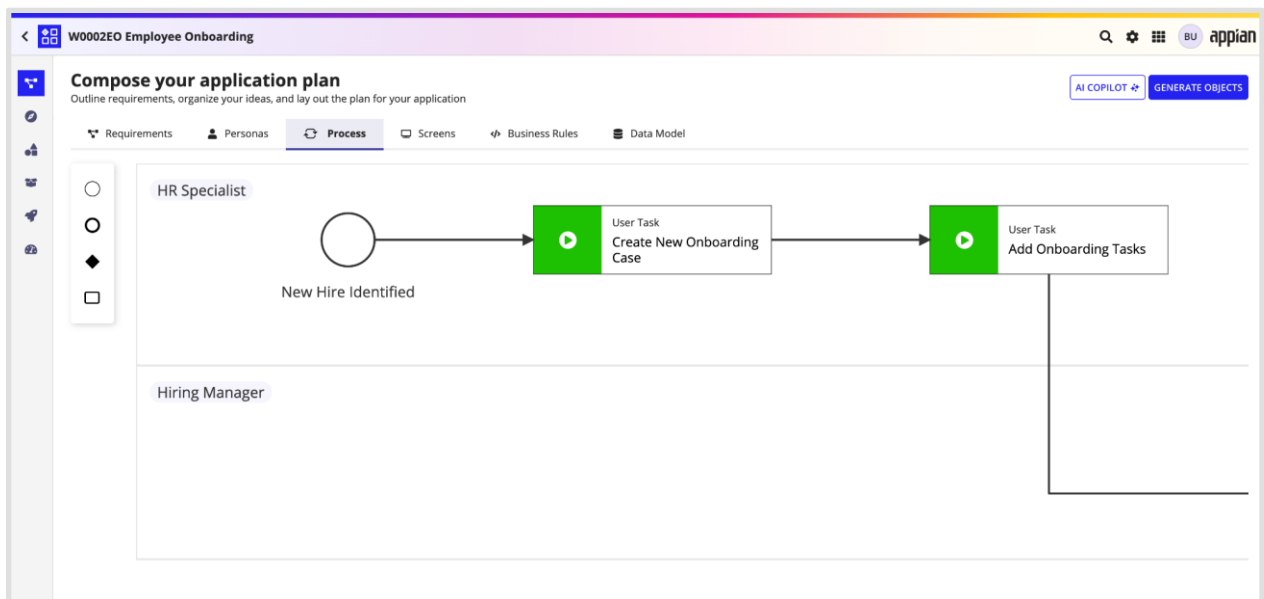
1. [Requirements] タブで、アプリケーションを形作る中心となるアクティビティやアクションの内容を確認します。

The screenshot displays the Appian Composer interface for 'W0002EO Employee Onboarding'. The main section is titled 'Compose your application plan' with a subtitle 'Outline requirements, organize your ideas, and lay out the plan for your application'. A 'GENERATE OBJECTS' button is visible. Below this, there are tabs for 'Requirements', 'Personas', 'Process', 'Screens', 'Business Rules', and 'Data Model'. The 'Requirements' tab is active, showing a list of 'Stories' under the heading 'Employee Onboarding Management'. The stories are: 'View Onboarding Dashboard' (W0002EO-1), 'View Onboarding Case Details' (W0002EO-2), 'Create New Onboarding Case' (W0002EO-3), and 'Update Onboarding Case' (W0002EO-4). Each story has a 'To Do' status. On the right side, an 'AI Copilot' chat window is open, displaying generated content and a 'Start typing...' input field. The chat content includes: 'records and add tasks. Hiring Manager: Can view and update their specific new hires. 3. Core Features: HR needs to view a list of employee onboarding cases on a dashboard that can be filtered by status. HR needs to click into the onboarding cases to view more details. HR needs to create new onboarding cases and update them later.' and 'I have analyzed your Modern Onboarding Hub requirements and created a comprehensive set of user stories covering dashboard views, case management, employee record creation/editing, and task management for both HR Specialists and Hiring Managers. The requirements capture all the core features you specified including filtering, detailed case views, and progress tracking capabilities.'

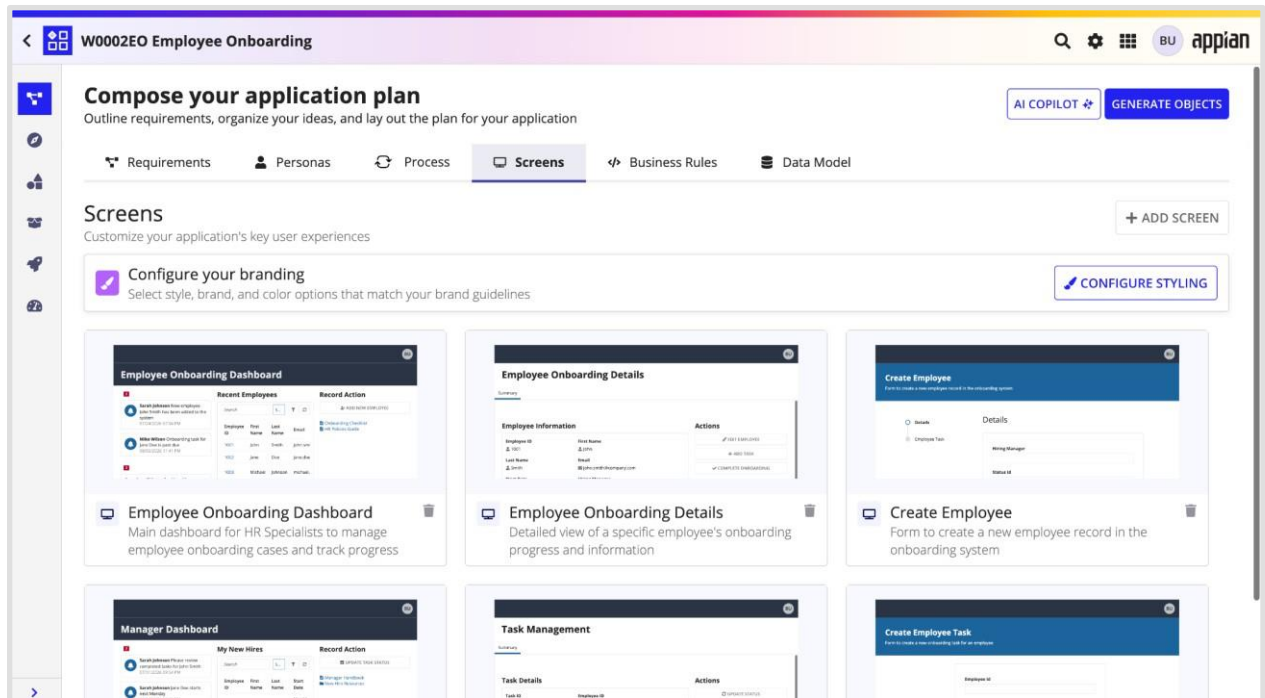
2. [Personas] タブに移動します。ペルソナの Hiring Manager（採用マネージャー）と HR Specialist（人事スペシャリスト）は、アプリケーションを操作するユーザーのグループです。



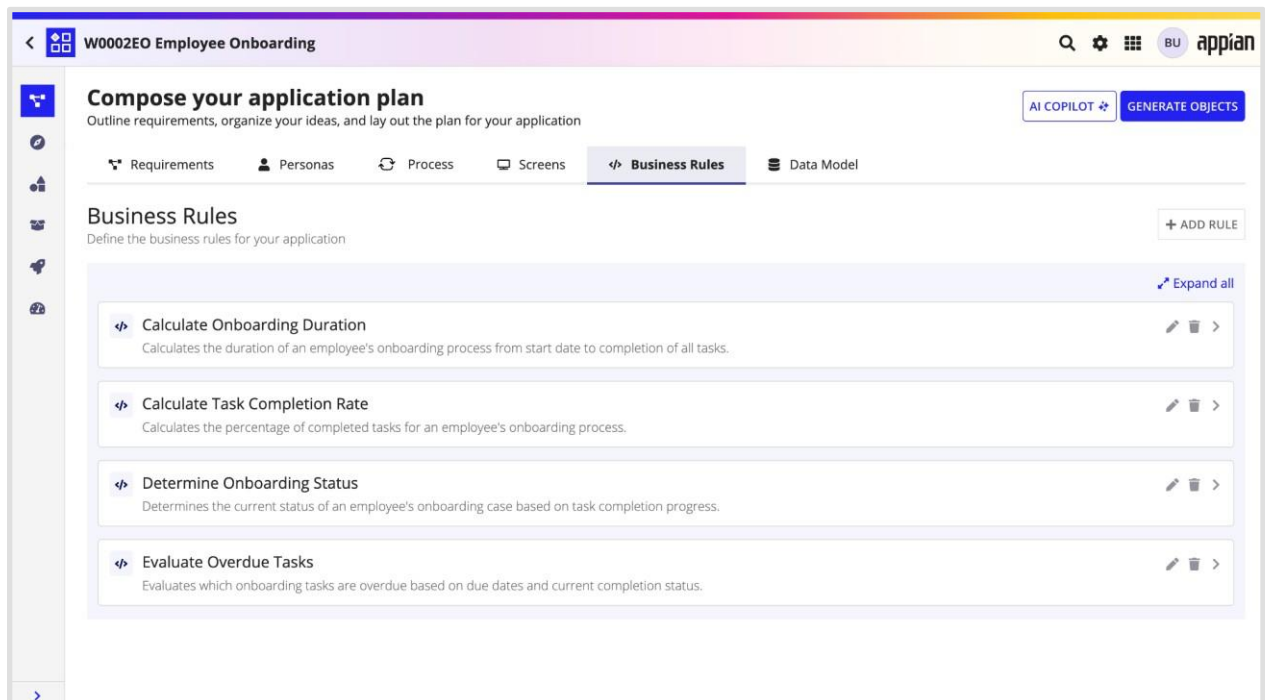
3. 次に、[Process] タブに移動します。このタブには、アプリケーション全体のビジネスプロセスが視覚的かつ動的な図として表示されます。これは、ビジネスワークフローを自動化するプロセスモデルの基盤となります。



4. [Screens] タブに移動します。ここでは、アプリケーションの主要なユーザー画面を管理できます。ここに表示される画面の種類は、ダッシュボード、フォーム、およびビューです。



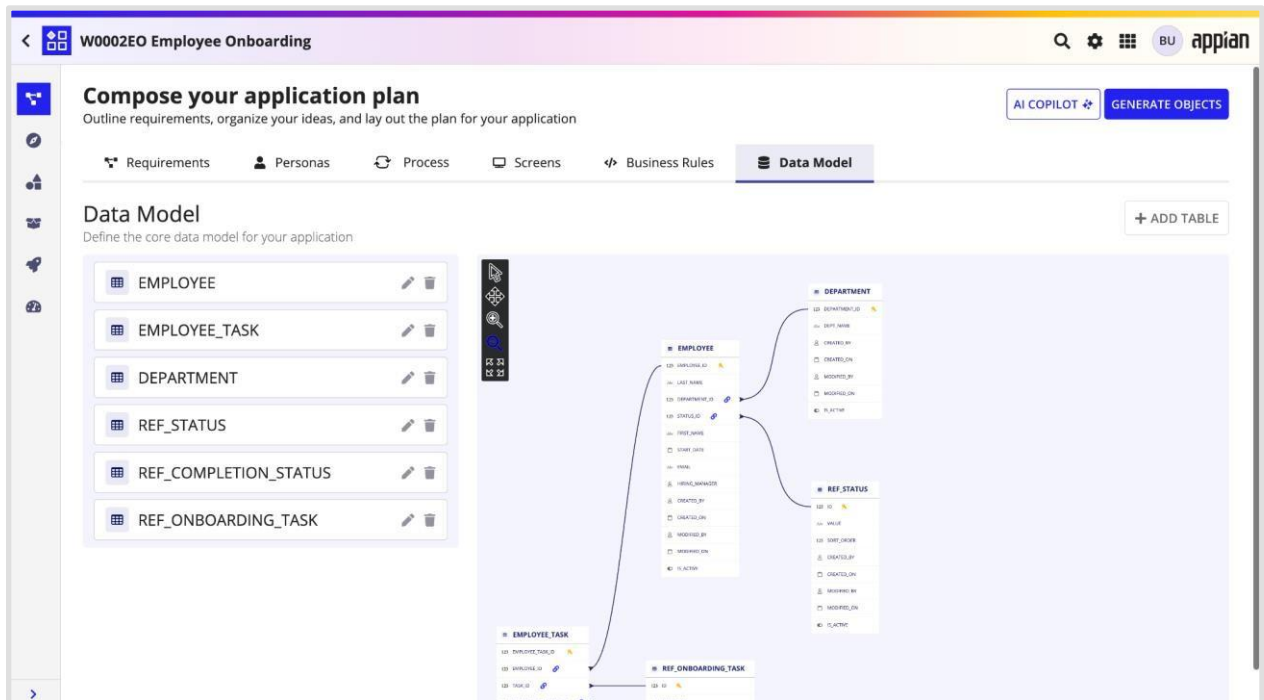
5. [Business Rules] タブに移動します。チームにとって理解しやすい、明確で分かりやすい言葉でビジネスロジックを定義します。



このワークショップでは、ビジネスルールには重点を置きません。期限超過タスクの特定など、アプリケーションに含まれる可能性のあるロジックの種類に慣れることを目的とします。

6. [Data Model] タブに移動します。これは、アプリケーションのデータの中核となる構造です。テーブル間のリレーションシップを視覚的に整理したり、テーブルを追加・更新・削除したり、各テーブルのフィールドを設定したりできます。

- 中核となる EMPLOYEE テーブルに注目してください。このテーブルは、他のテーブルや DEPARTMENT などの参照データと関連付けられています。生成されたデータモデルは、データ設計のベストプラクティスに従っています。



ヒント

Appian 環境に既存のデータがすでにある場合は、それらのレコードタイプを [Data Model] タブのテーブルにマッピングできます。

ご覧のとおり、アプリケーションプランの任意の部分を手動で更新することも、チャットを使用することもできます。このワークショップでは、プランをそのまま使用します。

アプリケーションプランを使用して、アプリケーションの構築を迅速に開始するためのオブジェクトを生成できます。このワークショップでは、これらのオブジェクトは既に作成されており、アプリケーション内に存在しています。



注記

アプリケーションプランのコンポーネントはオブジェクトにマッピングされます。

- グループは、プランのペルソナから生成されます。
- プランのワークフローに基づいて、さまざまなプロセスモデルが推奨されます。
- さまざまなインターフェイスは、各種画面から生成されます。
- 式ルールは、プランのルール内のビジネスロジックに基づいています。
- レコードタイプは、データモデル内のエンティティにマッピングされます。レコードタイプには、データを作成、更新、削除、表示するユーザーフローのためのアクションとビューも含まれます。関連するインターフェイスとプロセスモデルが生成されます。

プランからオブジェクトを生成した後、それらはアプリケーションプランの関連する部分にマッピングされます。

演習 2: デザインオブジェクトの設定

この演習では、アプリケーションの機能を構成するさまざまなオブジェクトを確認し、さらに設定します。

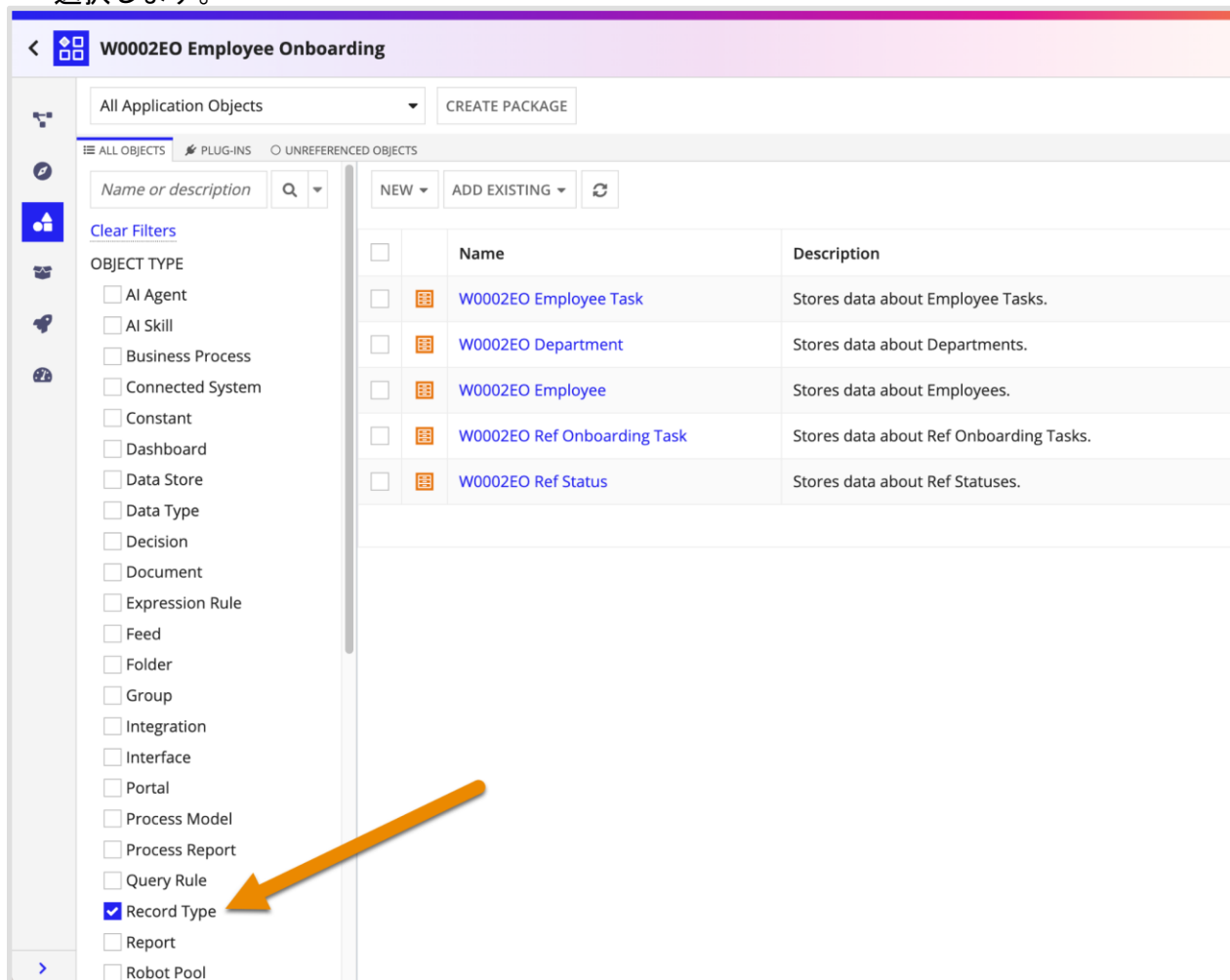
レコードタイプを設定する

レコードタイプは、データをモデル化して設定するオブジェクトです。まず、データモデルを確認します。

1. 左側のナビゲーションペインで、[Build] ビューに移動します。



2. 左側のペインで、OBJECT TYPE の下の [Record Type] を選択します。



3. オブジェクトの一覧で、W#EO Employee レコードタイプを選択します。

レコードタイプを開くと「概要」ページが表示され、データソースや行数などの詳細を確認できます。

4. 左側のナビゲーションペインで、DATA の下の [Data Model] をクリックします。

5. データモデルを確認します。Appian Composer が、定義されたフィールドおよびリレーションシップを含むレコードタイプを生成した際に、対応するデータベーステーブルも作成されました。



ヒント

Appian のデータファブリックを使用すると、さまざまな種類のデータソースのデータを接続し、インターフェイス、プロセス、生成 AI 機能など、Appian 全体で使用できます。

次に、データモデル内のいくつかのフィールドの表示名を更新します。これらの変更は、後ほどアプリケーションで確認できます。



ヒント

ベストプラクティスとして、レコードフィールドには表示名と説明を追加することをお勧めします。これにより、ビジネスユーザー向けにアプリケーション全体の一貫性を確保しやすくなります。また、適切な表示名と説明は、AI に追加のコンテキストを提供します。

1. [Data Model] ページで、departmentId フィールドの行で **[Edit]** (鉛筆アイコン) をクリックします。次に **Edit Record Field** ダイアログで、以下を設定します。
 - Display Name に Department と入力します。
 - [OK] をクリックします。
2. firstName フィールドの行で [Edit] をクリックし、Edit Record Field ダイアログで次のように設定します。
 - Display Name に First Name と入力します。
 - [OK] をクリックします。
3. [SAVE] をクリックします。



シナリオ

このセクションでは、Composer に入力したアプリケーション要件の 1 つに対応します。

- 採用マネージャー: 自分が担当する特定の新規採用者を表示および更新できる。

現時点では、Viewer 権限を持つすべてのユーザーがすべてのレコードを表示できます。

この要件を満たすために、レコードレベルセキュリティを使用して、どのユーザーがどのデータ行（レコード）を表示できるかを定義します。

1. 左側のナビゲーションペインで、SECURITY の下の [Record-Level Security] をクリックします。
2. [NEW SECURITY RULE] をクリックします。

3. Create New Security Rule ダイアログで、次のように設定します。

- **Who is part of this rule?: [Users found in fields]** を選択します。
- **Fields: hiringManager - User** を選択します。

Create New Security Rule

Who is part of this rule?

☐ Users found in groups ☒ Users found in fields ☐ Users who can view related records

Fields ?

hiringManager X

Which W0002EO Employees can they view?

☒ Users can see W0002EO Employees where they are found in the selected fields

[+ Add Additional Conditions](#)

CANCEL CREATE AND ADD ANOTHER RULE CREATE

4. [CREATE AND ADD ANOTHER RULE] をクリックします。

5. 以下を設定します。

- **Who is part of this rule?: [Users found in groups]** が選択されたままにします。
- **Groups: W#EO Administrators と W#EO HR Specialist** を入力して選択します。
- **Which W#EO Employees can they view?** の下では、[All W#EO Employees] が選択されたままにします。

Create New Security Rule

Who is part of this rule?

☒ Users found in groups ☐ Users found in fields ☐ Users who can view related records

Groups

W0002EO Administrators X W0002EO HR Specialist X

Which W0002EO Employees can they view?

☒ All W0002EO Employees ☐ Only W0002EO Employees where...

CANCEL CREATE AND ADD ANOTHER RULE CREATE

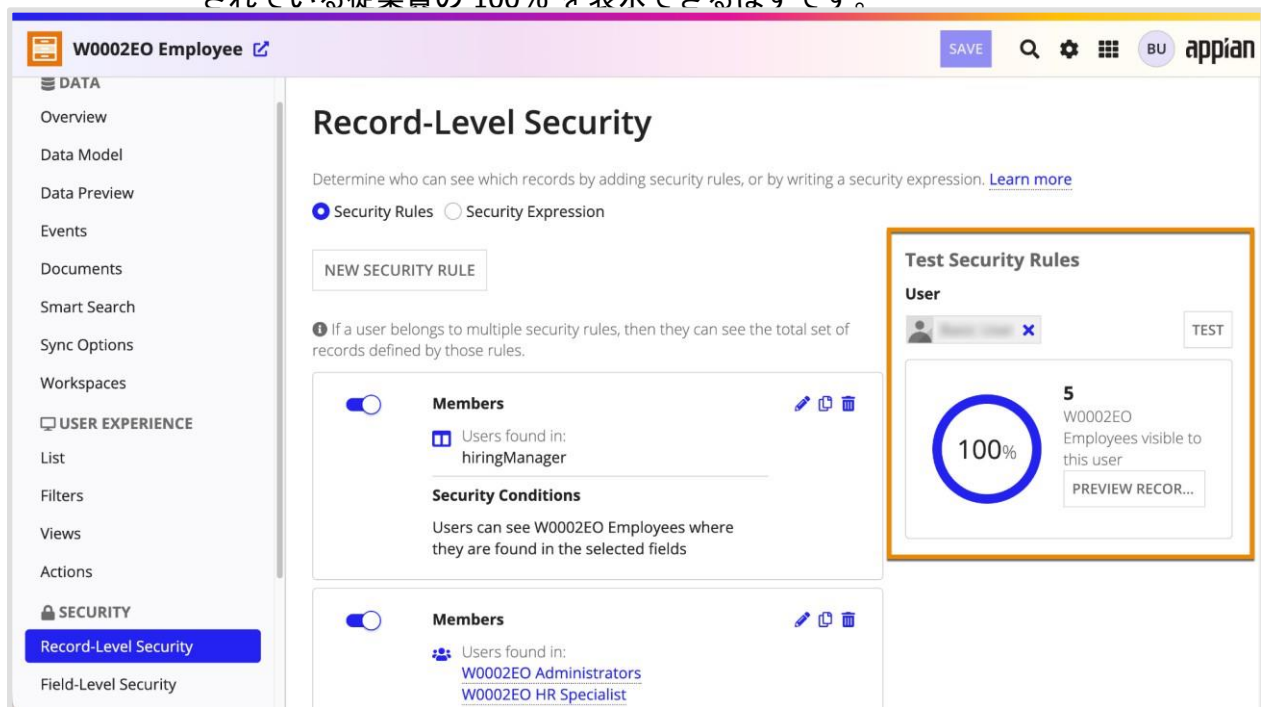
6. [CREATE] をクリックします。

7. 右上隅の [SAVE] をクリックします。

これらの設定により、採用マネージャーは自分の従業員のオンボーディングレコードのみを表示でき、人事スペシャリストはすべてのオンボーディングレコードを表示できます。その他のユーザーはレコードを一切表示できません。アプリケーションを構築およびテストする際にすべてのテストデータを確認できるよう、アプリケーション管理者がすべてのレコードを表示できるようにすることがベストプラクティスです。

テストしてみましょう！

1. Test Security Rules の下の User で、自分のユーザーを検索して選択します。
2. [TEST] をクリックします。
 - W#EO Administrators グループに所属しているため、このレコードタイプに保存されている従業員の 100% を表示できるはずです。



Employee Summary View インターフェイスを開く

次に、従業員のサマリービューを編集します。サマリービューはレコードタイプで設定されますが、UI はインターフェイスオブジェクトで構築されます。

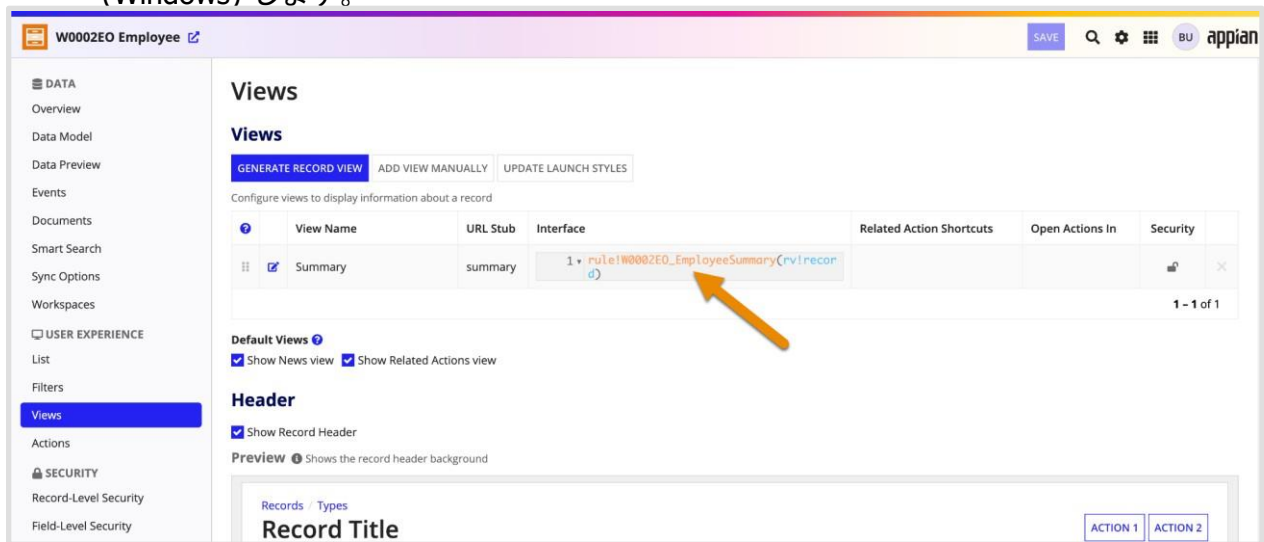


注記

サマリービューは、レコードに関する詳細をユーザーに表示するレコードビューです。サマリービューはレコード上の最初のビューであり、そのレコードを表示できるユーザーには常に表示されます。

レコードビュー内の情報は、ユーザーの関心やニーズに合わせて調整できます。複数のレコードビューを使用することで、多くのユーザーに役立つデータの包括的なビューを作成できます。

1. 左側のナビゲーションペインで、USER EXPERIENCE の下の [Views] をクリックします。
2. Views の下の Interface 列で、インターフェイスを呼び出す式ルールから従業員のサマリービューインターフェイスを開きます。rule!W#EO_EmployeeSummary の上で COMMAND キーを押しながらクリック (Mac) または CTRL キーを押しながらクリック (Windows) します。



インターフェイスを更新する

インターフェイスが新しいタブで開きます。このパートでは、インターフェイスに慣れるために、生成されたサマリービューにいくつかの変更を加えます。インターフェイスは、さまざまなコンポーネントとその設定で構成されています。



ヒント

Department および First Name のフィールド名が、レコードタイプで設定したとおりに表示されていることに注目してください。レコードフィールドの表示名は、インターフェイスで参照できるプロパティです。実際のアプリケーションでは、さらに多くのフィールドに表示名を設定します。

Employee Task の読み取り専用グリッドセクションでは、Task Id と Completion Status Id の列に数値が表示されています。これは、フィールドにタスクの名前ではなくタスクの ID が格納されているためです。このステップでは、関連するレコードタイプのタスク名またはステータス名を参照するようにフィールドを更新します。

1. Task Id グリッド列を選択します。

Employee Task

Search W000EO Emplo... SEARCH

Due Date	Task Id	Completion Status Id
5/18/2026	2	2

2. 右側の Component Configuration ペインで、[Data] タブに移動します。
3. Display Value と Sort Field の下で、taskId の選択を解除します。

Read-only Grid / Grid Column

Search parameters

Content **Data** Behavior Styling

Display Value
Select a field

Sort Field
Select a field

4. Display Value の下のドロップダウンで、refOnboardingTask > taskName を選択します。
Sort Field は自動的に更新されます。

Read-only Grid / Grid Column

Search parameters

Content **Data** Behavior Styling

Display Value
refOnboardingTask.taskName ✕

+ DISPLAY OPTIONS

Sort Field
refOnboardingTask.taskName ✕

5. [SAVE] をクリックします。

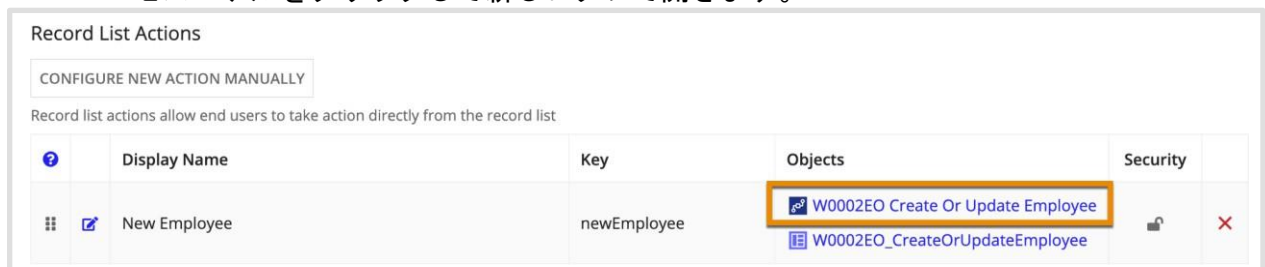
プロセスモデルを開いてテストする

次に、従業員を作成および更新するためのアクションとして使用されるプロセスモデルを開きます。

1. W#EO Employee レコードタイプに戻ります。
2. 左側のナビゲーションで、USER EXPERIENCE の下の [Actions] ページに移動します。

設定されたアクションには、フローを定義するプロセスモデルと、ユーザーが入力する開始フォームとして使用されるインターフェイスがあります。新規作成アクションと更新アクションでは、同じプロセスモデルとインターフェイスが使用されます。

3. Record List Actions の下の New Employee 行で、W#EO Create or Update Employee プロセスモデルをクリックして新しいタブで開きます。



Record List Actions

CONFIGURE NEW ACTION MANUALLY

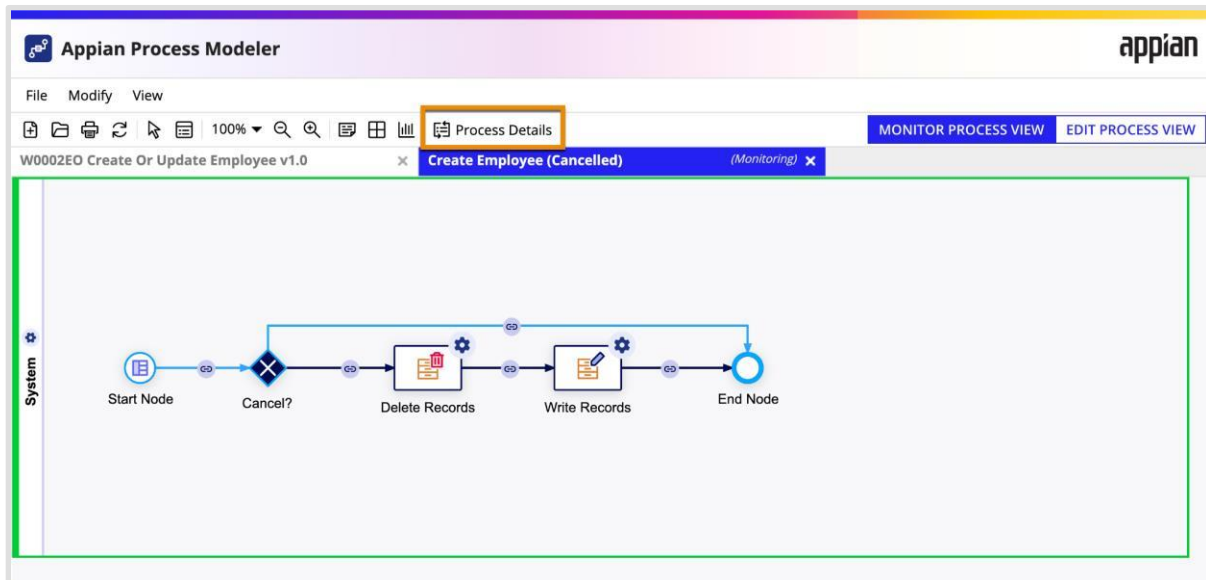
Record list actions allow end users to take action directly from the record list

?	Display Name	Key	Objects	Security
⋮	New Employee	newEmployee	W0002EO Create Or Update Employee W0002EO_CreateOrUpdateEmployee	🔒 ✖

生成されたプロセスモデルをカスタマイズできる Process Modeler に移動しました。このワークショップでは変更は行いませんが、公開済みプロセスをテストおよびデバッグする手順を一通り確認し、操作に慣れていきます。

1. 左上の [File > Start Process for Debugging] をクリックします。新しい従業員を追加するフォームが新しいウィンドウに表示されます。
2. フォームの下部にある [CANCEL] をクリックします。

Process Modeler で、直前に実行したプロセスインスタンスを表示しています。プロセスが開始されると、プロセスの詳細を確認できます。



3. ツールバーで [Process Details] をクリックします。
4. プロセスの詳細を確認したら、Process Details ダイアログを閉じます。

サイトを設定する



シナリオ

ユーザーは、中央サイトからオンボーディングケースを作成、レビュー、および更新する必要があります。

ビジネスユーザーが従業員データにアクセスし、操作できるようにサイトを構成します。サイトオブジェクトでは、表示名と Web アドレス、ページ、ナビゲーション、ブランディングを構成できます。



ヒント

サイトを使用して、ユーザーが必要とするページ、タスク、情報に迅速にアクセスできる、プロフェッショナルで洗練されたカスタマイズされたエクスペリエンスを作成します。

1. [Build] ビューに戻ります。
2. 左側のペインで、OBJECT TYPE の下の [Site] を選択します。
3. W#EO Employee Onboarding サイトを開きます。既に設定されているサイトページを確認します。

4. [Navigation Bar] セクションに移動します。レイアウト、スタイル、ページタイトルの大文字/小文字の表記など、ナビゲーションにいくつかの変更を加えます。
5. [Branding] セクションに移動します。ボタンラベルの大文字/小文字の表記、ボタンの形状、入力フィールドの形状など、ブランディングにいくつかの変更を加えます。
6. [SAVE] をクリックします。

演習 3: ビジネスユーザーとしてアプリを探索する

サイトオブジェクトの Web Address を使用するか、ナビゲーションメニューからサイトを選択することで、サイトをプレビューできます。

従業員の管理

まず、従業員オンボーディングケースを管理するためのユーザーフローを順に確認します。

1. ナビゲーションメニューをクリックし、Employee Onboarding サイトを選択します。 
2. サマリービューを表示するには、リスト内のいずれかの従業員のリンクをクリックします。リンクは Employee ID または Name フィールドに表示されている場合があります。
 - これにより、先ほど更新したサマリービューに移動します。
3. [UPDATE EMPLOYEE] をクリックして、フォームを確認します。
4. 従業員情報に変更を加え、[NEXT] をクリックします。次に [SAVE] をクリックします。

ビジネスデータを使用してレポートを作成する

Process HQ は、ビジネスユーザーがエンタープライズデータおよびプロセスについてレポートを作成し、監視し、アクションを実行できるワークスペースです。Process HQ では、ユーザーは以下にアクセスできます。

- レポートとダッシュボード: カスタムレポートやダッシュボードを作成・共有し、AI Copilot で新たなインサイトを獲得します。
- プロセスインサイト: ガイド付きのエクスペリエンスに従ってプロセスを探索し、問題を迅速に検出して、効率を改善します。



シナリオ

人事スペシャリストおよび採用マネージャーは、レポートを作成し、新入社員のオンボーディングプロセスの効率を監視します。

ビジネスユーザーが作業中のサイトから直接、アプリケーションデータを使用してレポートを作成できるようにすることができます。これが、Composer から生成された

サイト内の REPORTS AND DASHBOARDS ページです。このセクションでは、部門別の従業員数を表示する円グラフを作成します。

1. ナビゲーションバーで [REPORTS AND DASHBOARDS] ページをクリックします。
2. [CREATE REPORT] をクリックします。
3. W#EO Employees データセットを選択します。
4. 左側のペインで、FIELDS の下の First Name、lastName、および Department > **deptName** を選択します。
5. 右側のペインで、DESIGN の下の [Pie] を選択します。
6. CONFIGURE PIE CHART > Sliced By の下で、Department deptName を選択します。
7. [SAVE] をクリックします。
8. [REPORTS AND DASHBOARDS] をクリックしてホームページに戻ると、新しいレポートが含まれるライブラリが表示されます。



ヒント

レポートを作成すると、次のことができます。

- 含めるフィールドを選択する。
- レポートの表示スタイルを設定する。
- レポートを保存して共有する。
- さまざまなレポートを使用してダッシュボードを構築する。



おめでとうございます！このワークショップを完了しました。